

困難を抱える子どもたちの 学校教育を考える

埼玉大学 教育学部 学校保健学講座

関由起子

目次

1. なぜ子どもの教育の問題を
考えるに至ったのか

2. 学校や病院が求められる
病気の子どもたちへの姿勢

3. 病気の子どもたちの
学校生活の現状

4. 学校の先生が置かれて
いる状況

5. 専門知識・技能を持つ人
たちの力をどう活用するか

よろしくお願ひします



1. なぜ子どもたちの教育の問題を考えるに至ったのか

何気ない（何気なくないんだけど）一言

小児病院から退院してきた子どもが、
今まで3人いるんですけど、みんな
不登校になってしまったんです。



ある小学校の養護教諭より

何気ない（何気なくないんだけど）一言



病院に来ているベテランのあるボランティアさん、その方は小学校の校長先生だった方なんですけど、子どもたちに、「勉強しようよ、君たちの将来のためだよ」って折に触れて言うんです。最初は勉強なんて今はどうでもいいって思ったんですけど。でも、大事なんですよね、勉強。

がんの子どもを持つ母親より

何気ない（何気なくないんだけど）一言

関さん、あのね、なんか違うんです、血友病の患者さんたち。成人した男性なんだけど、そうじゃないような。ここぞという時に、ふうっと逃げてしまうような。社会常識や責任というのが身につけていないような、そういう、仕事が長続きしない患者さんも多いから。



ある患者支援団体の事務局長より

何気ない（何気なくないんだけど）一言



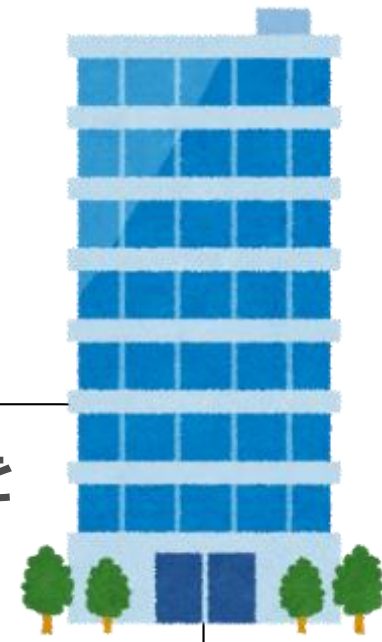
障がい者というだけでは雇ってもらえません。これは仕事ですから、仕事ができないとだめです。社会人としてのスキル、特にコミュニケーションスキルは大切です。専門技能があることも重要です。

障がい者雇用専門の人材派遣会社の人

2. 学校や病院が求められる 病気の子どもたちへの姿勢

社会で求められる人材とは？

社会人基礎力



職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力

前に踏み出す力（アクション）

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く
取り組む力～

考え抜く力（シンキング）

～疑問を持ち、考え抜く力～

チームで働く力（チームワーク）

～多様な人とともに、目標に向けて協力する力～



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

私の疑問

社会人基礎力って、どこで養われるのだろう。



わたし

初等中等教育の役割 初等中等教育と高等教育との接続の
改善について（答申）平成11年12月中央教育審議会 より

人間として、また、家族の一員、社会の一員として、更には国民として**共通に身に付けるべき基礎・基本**を習得した上で、生徒が各自の興味・関心、能力・適性、進路等に応じて選択した分野の基礎的能力を習得し、その後の**学習や職業・社会生活の基盤**を形成すること。

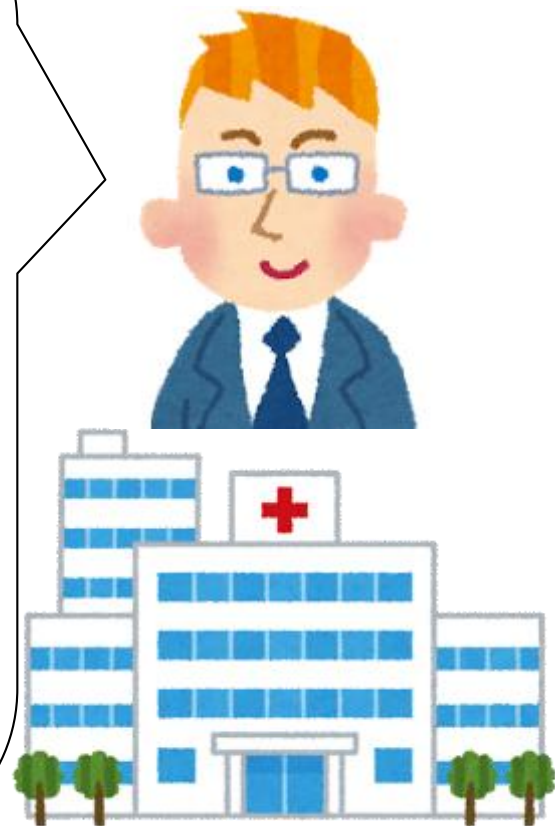
どうやら小中学校の役割でもあるらしい。



わたし

北欧の病気の子どもの学校教育の在り方に関する考え方

- ◎ **こどもはできるだけ通常環境を維持することが大切**
- ◎ **病気のために通常ではない環境に長時間いることは、子どもたちの社会復帰に負の影響をもたらす**
- ◎ **入院が必要な場合でも通常の学校教育をなるべく継続できる工夫を行うべき**



私の疑問

- ◎ 病気のこどもたちは、きちんと学校に行けているのだろうか。
- ◎ 病気のこどもたちの勉強は、ちゃんと保障されているのだろうか。
- ◎ 学校生活での困難が、将来自立への障害になっていないのだろうか。



わたし

現状把握をしよう！

- ◎ 病気の子どもの学校教育の課題を明らかにしよう。
- ◎ 手始めに、当事者，支援者等の様々な事例を探ってみよう。



わたし

3. 病気の子どもたちの 学校生活の現状

保育園の園長より

さいたま市の保育園から、病気があることを理由に断られたお母さんから、うち（埼玉大学の保育所）に入れてほしいと連絡があったんだけど、どうしたらいい？ 区役所から、うちなら入れてくれると思うからと、紹介を受けたんだけど。



園長が電話した小児科の先生



この子は全く心配いりません。食が細いだけで、普通の子と同じです。このように、園長先生と電話でお話しできて、ご心配事を私に聞いていただけで、本当に良かったです。問題なのは、小学校に入ってからなんですよねえ。

白血病の子どものお母さん

治療が終わって、今は経過観察なんだけど、修学旅行に行きたいなら、親が付き添うように言われた。今は普通に学校に通っているのに、と思いましたが、行かせてあげたいから付き添いました。



ある病気の子どものお母さん



車いすが必要なんですけど、エレベーターがないから、この学区外の学校に行けと教育委員会に言われました。遠いし、うちの子だけどうして、そして、なんだか悔しくて。

血友病の子どものお母さん

小学校入学時に校長先生に話をしたところ、「血友病の子どもが入学した前例はありませんので、養護学校に行くように」と言われました。なんで？うちの子が養護学校？って思いました。



血友病の子どものお母さん



欠席も多かったので、勉強はそうそうにできませんでした。3年生の授業参観に行ったら、分数だったんですけど、窓の外を見てまったく授業を聞いていないんです。全然わかっていなかったんですね。あわててドリルを買いに行って、2年生のドリルを使って、家で少しずつ勉強しなおしました。

白血病の子どものお母さん

復学するとき、保健室の先生に「よろしくお願ひします」って挨拶に行つたんです。そうしたら、「私は病氣のことよくわからないから」と言われてショックでした。病氣のことがわからない保健室の先生っていったいなんなんだ？と思つたんですけど、そういう先生多いんですか？



学校現場で子どもたちが置かれている現状

なんだかいろいろ問題があるようだ。
でも、患児の家族などの意見だけでは
わからない面もある。

よし！学校関係者にも聞いてみよう！



わたし

4. 学校の先生が置かれている 状況

現職の養護教諭に聞いてみました。

**保健室の先生（養護教諭）約60名に
「普通学級に病気のこどもを受け入れ
るときに問題となること，課題となる
こと」を聞いてみました。**



病気の理解が困難

- ◎ 医療に関する研修の機会が少ない。
- ◎ 学校長や担任の理解によって知識や対応にばらつきがある。
- ◎ 知らないが故に腫れ物に触るような扱いになった経験がある。



人手が足りない！



- ◎ 個別対応するためには人員確保が必要であるが、それが困難。
- ◎ 通常学級では狭い意味での発達障害の子どもへの対応に手一杯で、表面上問題が露呈していない病気の子どもについては見落とされてしまいがちになっているのが現状。

支えたくても「お金」がない

- ◎ 施設を改善する必要がある場合、予算面の工面が出来るだろうか。その場合、即受け入れることが出来るだろうか。
- ◎ 補助教員が必要となると、すぐ採用出来るほどの予算がつくのであろうか。



責任の問題

- ◎ 管理職は何か生じたときの責任問題を回避したいのではないか。
- ◎ 養護教諭はつきっきりになれないので、遠足や校外学習など、看護師や保護者が見てくれるのであれば参加できるのではないか。



保護者への対応問題



- ◎ 病気の子どもの保護者からの学校への要望が多い。物品は学校が準備するもの、補助員の先生もいるはず、と要望が強い。
- ◎ 病名を伏せたい保護者の気持ちをどう受け止めたらよいのか。家族からの情報がほとんど提供されない場合は対応に困ってしまう。
- ◎ 病気の子どもの親がモンスターに見える。

特別な配慮はできない



- ◎ **そもそも病気の子どもはまれにし
か在籍しないので、その子ども用
の体制を作るのは困難。**
- ◎ **養護教諭は職務上、校内すべての
児童生徒を対象としている。病気
の子どもだけ特別扱いはできない。**

病院・医者が怖い

- ◎ 現状では病院と学校の壁は厚い。学校側がそう思い込んでいるだけかもしれないが。
- ◎ 今までの校医さんとの関わりの経験から、医療者とうまく連携できるという自身が持てない。



「病気のこどもたち」だけの問題ではないようだ！

先生たちに、子どもたちの支援を求めただけではうまくいかない。先生たちへの支援が必要だ！



わたし

支援が必要な子どもたちは大勢いる

- 慢性疾患
- 発達障害
- 学習障害
- アレルギー疾患
- 性同一性障害
- 貧困
- 虐待
- 震災
- シックスクール対策
-



保護者へも支援が必要だ。

先生達は病気の子ども達の保護者との
対応に苦慮している。

保護者にも支援が必要だ！



わたし

ケア提供者・調整役・情報提供者は保護者！



5. 専門知識・技能を持つ人 たちの力をどう活用するか

北欧の状況

保健師が病気の
子どもの家庭を
丸ごと支える！

病院

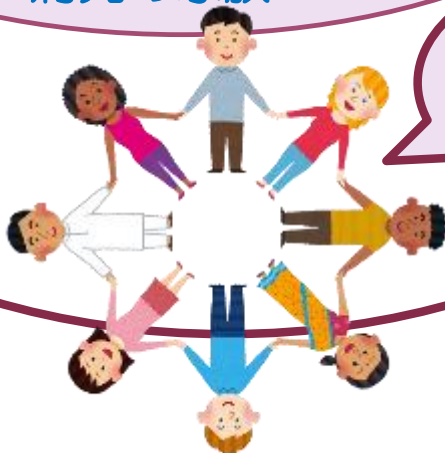


病児の家族

専門職の
有機的な
連携



学校



役所

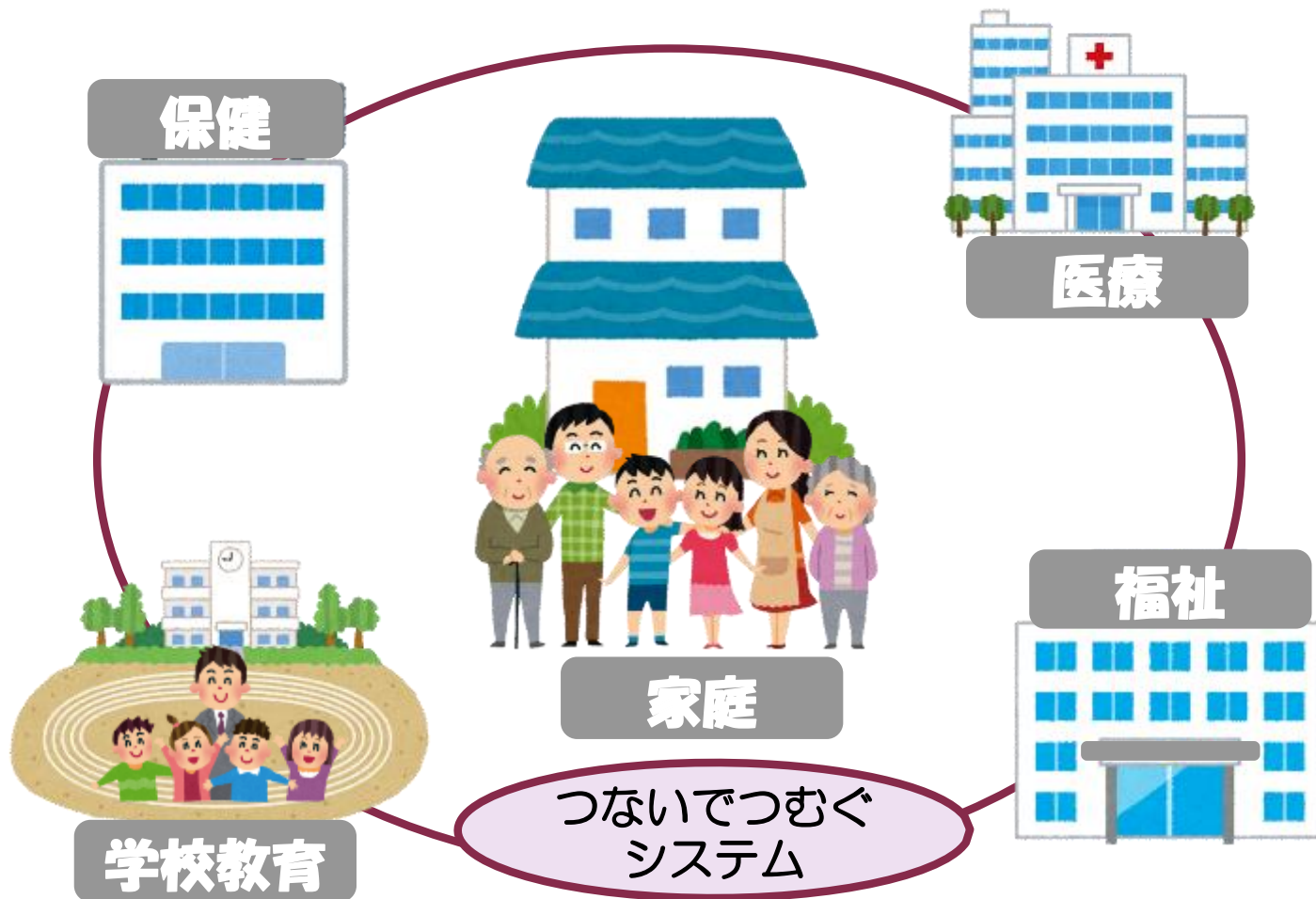
日本の保健師の現状



保健師は、学校に入学するまで、実際には4歳児未満までを対象。保育園までは連携できるが、それもまれ。学校とは情報連携も全くできていない。入院すれば、病院に任せてしまうのが現状。

私の友達の市保健所の係長（保健師）

必要なのは家庭を丸ごと支える仕組み つなぐ人，つむぐ人は誰か？



例) 病気の子どもの学校生活への支援 一緒に考えていただけますか

支援を必要としている人

- ◎ 患児
- ◎ 患児のきょうだい
- ◎ 患児の保護者
- ◎ 患児のクラスメイト
- ◎ 患児の学校の先生（担任，養護教諭，管理者，患児のきょうだいの担任・・・）



例) 病気の子どもの学校生活への支援 一緒に考えていただけますか

◎ 支援内容

患児の病状を理解し，学校における具体的な支援の内容を，**学校が持つ様々な制限を理解**したうえで，冷静に，わかりやすく提案できる人。

修学旅行での注意事項を主治医に聞いたたら，「そんなに心配なら酸素ボンベを持って行け」，と言われ，大変な思いをした。やたら聞かない方がいいです！



例) 病気の子どもの学校生活への支援 一緒に考えていただけますか

◎ 支援できる人

支援を必要としている人々に直接出向くことが出来る人

主治医？, 担当看護師？, ソーシャルワーカー？
支援団体？

学校に来ていただけるのであれば、本当にありがとうございます！



例) 病気の子どもの学校生活への支援 一緒に考えていただけますか

◎ 支援を受け入れる側（学校側）の問題

保護者から話を聞くので、特
に来ていただかなくても大丈夫
です。

支援団体の人が学校に来るん
ですか？ ちょっと難しいで
すね。直接関係のある方でな
いと。前例はないですし。





アイデアがありましたらお願いします。

- ◎ 手始めに、現職の養護教諭に、「人と時間のマネジメントで組織はこんなにうまくいく」の話をしてもらおうかと考えています。
- ◎ とりあえず、保健室の先生（卒業生あたり）の支援を（メール，Web，直接訪問）していこうかなと思っています。
- ◎ 3-5年くらいで、研究として活動すれば、仕事と両立出来るかなと考えています。

